

東京2020パラリンピック聖火フェスティバル 大村市採火式

東京2020パラリンピックの聖火となる火を全国各地で採火する「東京2020パラリンピック聖火フェスティバル」の大村市採火式を8月16日に障害者支援施設 三彩の里で行いました。

市内障害者支援施設の利用者の人たちが、願いごとや選手へのエールを書き込んだ薪まさきを使い、三彩の里の施設内にある登り窯から「大村市の火」を採火。

「大村市の火」は、その日のうちに県庁に運ばれ、県内市町から集められた火とひとつになり「長崎県の火」として東京へ旅立ち、全国から集められた火とともに、9月5日まで開催された東京2020パラリンピックの聖火台に灯されました。

■障がい福祉課 ☎20・7306

